

Newsletter

Vol.26 2015.3.30

日本養護教諭養成大学協議会

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol.26

会 長 岡田加奈子 (千葉大学)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会副会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	総会・養成教育フォーラムのお知らせ・・・・	5
各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	ホームページ更新について・・・・・・・・・・	5
養成大学の展望 大学紹介ー北から南ー・・・・	3	会計よりお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
事務局からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・	5	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6



副会長挨拶

大原 榮子
(名古屋学芸大学短期大学部)

今年度最後のニューズレター26号を書くにあたり、「Newsletter vol.1」2006.7.26 発行を手にして読み返しています。初代会長の 大谷尚子先生の「協議会の発足にあたって」の挨拶の中に、「教育職員として位置づく専門職業人である養護教諭を養成するためには、多種多様な養成機関が一堂に会して協議しなければならない」という認識が関係者に認識されたからです。とりわけ、養護教諭養成機関として認可される大学の条件として示されている大学設置基準や教育職員免許法については、これまで種々の問題が指摘されており、このままでは養護教諭の専門性は担保できないと考えられます。養護教諭の養成にかかわる大学を構成員とする本協議会こそ、望ましい養護教諭養成を目指して確保したい最低限の条件を示したいものです。そのためには、大学設置基準や教育職員免許法の内容について早急な検討が必要であり、新たな提案をしていかなければなりません。本協議会の検討委員会はその使命をもっています。……略」がありました。私事ですが、

私自身、この協議会の発足（2005年11月）の準備期間であった2005年6月頃から発足のための趣意書作成の段階から関わらせていただきました。全国を地域ブロックに分けて、会の設立について説明し、賛同していただける方々を募ることからでした。第1回の総会では、72大学中53大学の参加を得ることができました。

全国の養護教諭養成は当初、私学の短期大学が主流でした。その後、時代の流れの中で、4年制大学での養成が次第に増え、また短期大学での養成を廃止し、学部での養成へと変わっていった大学も多くありました。4年制大学もこれまで教育系での養成が主流だったものから、学際系といわれるところでの養成が新たに入ってきました。そして現在、この協議会で増えたのが、看護系での養成です。

本協議会を発足させたいと奔走された先輩諸先生方の思いである「養護教諭の専門性の担保」と「望ましい養護教諭養成を目指して確保したい最低限の条件」を示さなければならない時が、今正に来ています。

会員校の各大学が、それぞれの教育をしていく。その大学を卒業することで手にする教員免許状「養護教諭」は、そのどの養成機関の出身であっても、養護教諭の専門性の担保がなされていなくてははいけません。子どもたちから、先生方から、保護者の方々から、「養護教諭ってどんな仕事をする先生、どんなことができ

る先生」と尋ねられたとき、それは、どこの大学の出身であってもこれだけにはできるといふものがなければなりません。

今年度の総会において、免許の改正にむけて本協議会での改正案の提案を行いました。カリキュラム検討委員会においてもかなりの期間をかけてこれまで検討し、拡大委員会、理事会でさらに意見交換を重ねてきました。

子どもたちを取り巻く健康課題は、年々、命に直結するような複雑かつ重大な事態が増えています。学校では、一人職としての養護教諭が日々奮闘しています。だからこそ、養護教諭の専門性を担保するような教育とは何か、それがどんな科目なのかの模索は続いています。

本協議会が 10 年目を迎えるにあたり、今こそ、再度初心を想起し、会員大学 118 大学 (2014 年 12 月現在) の会員数が一丸となって、この課題に一步でも近づいていくことを切に願います。

でもさらに検討していきたいという意見が出されました。

各種委員会報告

「養成制度検討委員会」 活動報告 委員長 鈴木裕子 (国士舘大学)

2 月 11 日に、第 3 回委員会を開催しました。中央教育審議会等の最新の動向をふまえた情報交換の後、3 年間の活動のまとめとして、養護教諭養成制度の課題について改めて協議し整理を行いました。

養成制度の課題には、保健師免許から申請だけで養護教諭免許が取得できる問題や課程認定と専任教員の問題、科目の読み替えの問題など、すでに明らかにされてきた古典的な問題が多いものの、教職大学院の問題など新しい課題もあることを確認しました。他の組織で検討されているものとは別に、協議会として、どのような養護教諭を、どのような養成機関で育てていくべきかについて独自の検討が必要ではないか、またカリキュラム委員会とともに養成カリキュラムについ

「カリキュラム検討委員会」 活動報告

委員長 大原 榮子 (名古屋学芸大学短期大学部)

カリキュラム検討委員会は、3 年間で延べ 13 回の委員会を開催してきました。1 年目は、主に現行の「養護に関する科目」について課題を検討してきました。2 年目からは、カリキュラム改正に向けての活動がはじまり、3 年目の今年度は、何時始まるか分からない免許改正に向けて本協議会が望むカリキュラム改定案の提案となる基礎資料の作成を中心に行ってきました。

カリキュラム検討委員会の委員 10 名は、会議での積極的な意見と、課題検討に向けての地道な作業を分担し、毎回持ち帰っては完成させることをしてきました。特に拡大委員会への提案を前に、膨大な資料作りに奮闘しました。岡田会長の時期を逃さないためにもという思いが委員としての思いでもありました。この委員会での課題はまだこれからです。是非、会員校の先生方の積極的なご意見とご協力をいただきたく、次年度以降への活動に引き継ぎたいと思います。ありがとうございました。

「FD 検討委員会」 活動報告

委員長 荒木田 美香子 (国際医療福祉大学)

FD 検討委員会は「養護教諭養成に関する倫理教育の充実」に取り組んだ 3 年目の最終年度となりました。2015 年 2 月に最後となる今年度第 4 回目の委員会を開催し、報告書の作成について検討いたしました。養護教諭養成にあたって、学生の倫理的感性を醸成し、倫理的問題に対して、予防的にかつ適切な対処が行える能力を育成することは重要です。そこで、会員校に対し、養護教諭の倫理に関する教育を充実させるための情報を提供することが教員の能力向上の一助になると考え、10 名の委員で活動してきました。FD 検討委員会では、養護に関する科目を中心に教職に関する科

目との整合性を図りながら、多くの科目で養護教諭の倫理教育を組み入れることが必要であるという見解にまとまりました。その一例として、養護概説、健康相談活動の理論及び方法、教職実践演習などの科目での倫理教育の学習指導案などを検討し、報告書に掲載することにいたしました。

委員会は和気あいあいと、建設的な意見交換ができる場であり、また、講師を招聘し倫理教育に関する勉強会も行いました。充実した時間を作り出していただいた委員のみなさまに感謝いたします。



養成大学の展望 大学紹介 北から南

新設された養護教諭養成課程

首都大学東京
斉藤恵美子、清水準一

首都大学東京健康福祉学部では、2012年度から養護教諭一種の教育課程を開始しました。本課程は、豊かな教養と深い専門的知識を身につけた多様な資質をもつ養護教諭を育成するために開設されました。開設にあたっては、養護教諭を目指す学生にとって、専門的知識を学ぶとともに、養護教諭という仕事の特徴をよく理解できるような教育内容を検討してきました。また学校をめぐる社会的環境も大きく変化しています。このような時代の専門職者・教育者としては、まず一個の自立した責任感のある成人であること、そして他者を理解し、共感をもつことのできる能力が求められています。学生には、広い見識とバランス感覚のとれた養護教諭となることを志してほしいと考えています。

本学は公立の総合大学として中学校教諭、高等学校教諭の教職課程を有しており、教職課程の教育プログラムについては実績がありました。養護教諭教育課程

を新設するにあたっては、関係する学内外の教職員からの様々な支援を受け、既存の資源も活用することができました。また、本学の養護教諭教育課程のカリキュラムの特徴として、分散キャンパスということもあり、教職に関する科目の多くを1年次に配置しています。学生は、1年次は八王子市にある南大沢キャンパス、2年次以降は荒川区にある荒川キャンパスで学びます。養護教諭を目指している学生にとって、南大沢キャンパスでの1年次の時間割はかなり過密になりますが、早い段階から目的意識を持って、自己管理しながら勉強に取り組めるという良い面もあります。2、3年次は看護学に関する講義・演習・実習が主となり、4年次に養護実習や教職実践演習が配置されています。2015年度現在、養護教諭教育課程を選択した学生は4年次まで在籍しており、これから初めての養護実習が開始します。目的意識が明確で強い動機をもった学生たちですので、卒業後の進路なども、楽しみにしているところです。

学問による人間形成を基盤に児童生徒に寄り添い、理解し合う養護教諭の養成

城西国際大学 看護学部
岩田 浩子

「学問による人間形成」を建学の精神とする城西国際大学の建学20周年を期して、2012年に看護学部が開設されました。本学部は看護師国家試験受験資格及び選択として保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状取得ができる教育課程を編成しています。

城西国際大学は外房地域にあり、幅広い教養と深い専門性を持ち、地域に貢献し国際的に活躍できる人材育成を目指す8学部9学科の総合大学です。九十九里の海を前に成田空港を背にする地域性と国際性をキーワードとして、落ち着いた中にも異文化の刺激のある環境にあります。保健医療福祉においては、看護師不足に伴う地域ニーズが看護学部設置を後押ししました。

養護課程は、①看護師の資格を持ち児童生徒の養護に関する実践能力を持った専門性の高い人材②児童生徒との人間関係を基盤として思いやりを持ち、心身の健康教育・管理を実践できる人材③養護の課題を探求

し、役割拡大を追求できる人材の育成を目指しています。開学当初から教職課程をスタートし、充実した教員養成の実績に基づく養護教諭養成を可能としています。また、国際大学の中の看護学部としてグローバルな視点を持つために1年次から全員が海外研修を経験し、2年次・4年次にも自己の探求課題に応じた海外での学習機会を設けています。地域から海外への視野の拡大を目指しています。さらに、開設準備中に東日本大震災があったことから、災害時の児童生徒への対応や復興に至る中長期的な心身のケアなどを担うために、災害看護論、同演習を必修としています。現在、3年生18名、2年生20名、1年生40名が履修登録し、2年次の養護概説では近隣小学校の養護教諭にゲストスピーカーで講義をお願いしています。現在、初めての養護実習に向けて実習校の決定、実習要項の作成、実習オリエンテーションの準備をしています。学生は看護学実習をほぼ終了し、養護実習に向けてさらに学習を重ねていくことになります。

外房地域には養護教諭養成課程がなかったことから、看護師の力量を持った養護教諭として羽ばたいていく人材の輩出をめざし、学生・教員の相互学習により今後も研鑽していきます。

許法の改正により、養護教諭専修免許状を出せるよう認定を受けたのが平成2年度。その後、2007年(平成19年)に保健学研究科博士前期・後期課程となり、今日に至ります。

本研究科は二領域(人間健康開発領域、国際島嶼保健学領域)から成り、学校保健学分野は人間健康開発学領域に位置づいています。研究科は1学年10人と小規模ながらも、人々の疾病予防および健康の保持増進に寄与すべく、生体内の代謝や免疫等に関するミクロな分野から地域住民の健康管理および健康教育に関わるマクロな分野まで幅広い研究領域を有しており、それぞれの専門的なトピックに触れることができる利点があります。

特別の養護教諭専修免許コースを設けているわけではなく、養護教諭一種免許取得者が前期課程において学校保健学特論および特別演習を含む所定の単位を修得することで、専修免許を取得する形であり、1学年のうち1~2名が該当しています。学校保健学分野では、主に疫学的な調査研究を通して児童生徒の健康増進に寄与すべく、研鑽を重ねています。さらに研究を深めたい場合には、後期課程へ進学することも可能なため、全国的にも貴重な研究の場となっています。

また、開発途上国において学校における保健活動の普及を図り、そこから地域保健活動の展開をすすめる“国際学校保健コンソーシアム”に関わっている分野もあり、グローバルで多角的な観点から学校保健を学べることも特徴のひとつです。

琉球大学大学院保健学研究科 博士前期・後期課程

高倉 実

日本の最南端にある琉球大学は、米軍統治下において、教育学部を含む6学部構成の総合大学として開学しました。建学の精神は、米国大統領A.リンカーンの理念を反映した「自由・平等、平和・寛容」であり、それに基づいた「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追究」を基本理念として「地域特性に根ざした国際性豊かなアジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点大学」を将来像に掲げ、その実現に邁進しています。1968年(昭和43年)に保健学部が設置されて以来、養護教諭養成校として機能しており、1986年(昭和61年)に保健学研究科修士課程を設置しています。1986年(昭和63年)の教育職員免

今年度も大学からのメッセージを送ってくださり、ありがとうございました。

各大学での特色あるカリキュラムや取り組みが会員校にとって、貴重な学びにつながっています。

事務局からのお知らせ

2015年度の会員登録、基本調査、会費請求書は5月中旬頃発送を予定しています。

新年度より大学名、学部学科名、評議員の変更等がございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。現在評議員をされている方が退職や異動で交替される場合は、4月中に事務局へお知らせください。新年度の関係用紙は、新しい評議員様宛に郵送させていただきます。

事務局 櫻田淳

ホームページ更新について

日本養護教諭養成大学協議会のホームページは、2015年2月現在の会員大学118大学について更新いたしました。またニュースレターにつきましても、ホームページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

今後も迅速な更新に努めてまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

ホームページアドレス

[【http://www.j-yogo.jp/】](http://www.j-yogo.jp/)

2015年度 総会・養成教育フォーラムのお知らせ

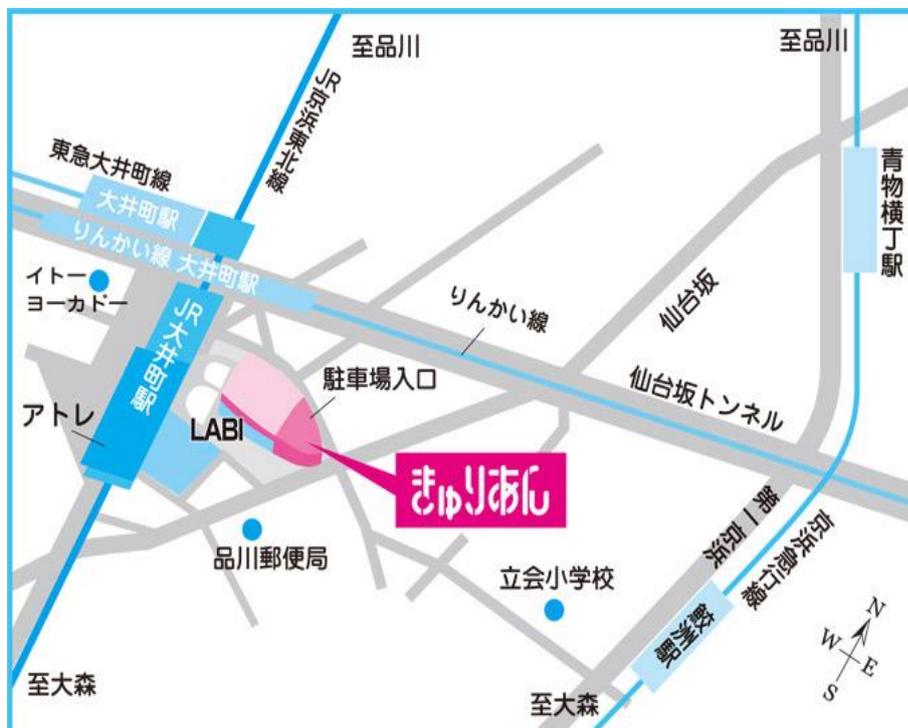
日時：2015年9月3日（木）午後教育セミナー
2015年9月4日（金）総会・養成教育フォーラム

会場：きゅりあん（東京都品川区東大井5-18-1）

アクセス：JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線・大井町駅徒歩1分

詳細は改めてご案内いたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。



●交通のご案内 JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線……大井町駅 徒歩約1分
※駐車場は商業施設との共用のため、土・日・祝日は特に混雑します。なるべく電車・バスをご利用ください。
※会館周辺道路は狭いため、近隣にご迷惑となりますので駐停車ができません。ご注意ください。
※駐車料金 30分200円（利用時間 8:30~21:30）

- 【京都】 京都光華女子大学 京都女子大学
京都橘大学
- 【大阪】 大阪教育大学 大阪大学
大阪府立大学 関西福祉科学大学
藍野大学 四天王寺大学
梅花女子大学 帝塚山学院大学
大阪女子短期大学 関西女子短期大学
- 【兵庫】 関西福祉大学 近大姫路大学
甲南女子大学 神戸常盤大学
園田学園女子大学 姫路獨協大学
兵庫大学 湊川短期大学
- 【奈良】 畿央大学 奈良教育大学
- 【滋賀】 聖泉大学 滋賀県立大学
- 【三重】 鈴鹿短期大学

会員大学 118 校
(2015.2 月 28 日)



- 【北海道】 北海道教育大学 北翔大学
- 【青森】 八戸学院大学 弘前大学
- 【岩手】 岩手県立大学 【山形】 山形大学
- 【宮城】 仙台大学 東北福祉大学 宮城大学
宮城学院女子大学

- 【新潟】
新潟医療福祉大学
新潟青陵大学
- 【石川】
金沢大学
- 【福井】
福井県立大学

- 【茨城】 茨城大学 筑波大学 茨城キリスト教大学
- 【群馬】 高崎健康福祉大学 東京福祉大学 桐生大学
群馬医療福祉大学
- 【埼玉】 埼玉大学 埼玉県立大学 十文字学園女子大学
女子栄養大学 東洋大学
- 【千葉】 千葉大学 聖徳大学 城西国際大学
千葉科学大学 了徳寺大学
- 【東京】 東京学芸大学 杏林大学 国士舘大学
聖路加国際大学 上智大学 日本体育大学
東京家政大学 東京医療保健大学
首都大学東京 帝京短期大学
- 【神奈川】 神奈川県立保健福祉大学 鎌倉女子大学
北里大学 国際医療福祉大学 横浜創英大学

- 【島根】 島根大学
- 【岡山】 岡山大学 川崎医療福祉大学
吉備国際大学 就実大学 山陽学園大学
- 【広島】 広島大学 広島文化学園大学
福山平成大学
- 【山口】 山口県立大学 宇部フロンティア大学
- 【徳島】 徳島大学 四国大学 徳島文理大学
- 【愛媛】 愛媛大学
- 【高知】 高知大学 高知県立大学 高知学園短期大学



会員相互のネットワークの輪
がますます広がっていくことを
願っています！



- 【福岡】 西南女学院大学 福岡県立大学 福岡大学
九州女子短期大学
- 【長崎】 長崎県立大学 活水女子大学
- 【熊本】 熊本大学 九州看護福祉大学
- 【佐賀】 佐賀女子短期大学
- 【鹿児島】 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学
- 【沖縄】 琉球大学 名桜大学

- 【長野】 松本大学 飯田女子短期大学
- 【静岡】 聖隷クリストファー大学
- 【岐阜】 岐阜大学 岐阜県立看護大学 岐阜聖徳学園大学短期学部
- 【愛知】 愛知学院大学 愛知教育大学 愛知みずほ大学
愛知みずほ大学短期大学部 椋山女学園大学 中部大学
東海学園大学 名古屋学芸大学 名古屋学芸大学短期学部



会計よりお願い

2015 年 2 月末の会員校は 118 校となり、昨年より 3 校増えました。全会員校より会費の納入をいただきましたことを心より感謝いたします。

2015 年度より新たに養護教諭養成を始める大学をご存じでしたら、是非とも本会をお勧めいただくとともに、事務局にもご一報下さいますようお願いいたします。

会計担当：津島 ひろ江 (川崎医療福祉大学)
荒木田美香子 (国際医療福祉大学)

☆☆ 編集後記 ☆☆

2014 年度最後のニューズレターをお届けいたします。発足当時は 72 大学であったことを、今回改めて大原副会長の挨拶から確認できましたが、それが 118 校ということは 1.6 倍の増加です。このことは、養護教諭を目指したいと考える学生の増加とも考えられます。一方で、養成の質をどう担保していくかということも大きな問題であり、当協議会の課題でもあります。

このニューズレターが、課題解決のためにも役立つようにお願いながらこの 1 年間作成に携わってきました。多くの先生方のご協力に感謝いたします。

宍戸 洲美 (帝京短期大学)
池添 志乃 (高知県立大学)

【事務局】 埼玉県立大学 櫻田 淳
Fax : 048-973-4374 (事務局専用)
Tel : 048-973-4326 (櫻田研究室)
E-mail : yogogimu@spu.ac.jp